

Be-News

別府大学のアツい想いをスクープ



別府大学
別府大学短期大学部

NO.119
2019 AUTUMN

Beppu University, Beppu University Junior College Magazine

Be-News

特集

九州の文化遺産を + 守る



研究室訪問
学びのトビラ
クローズアップ別大生
卒業生インタビュー
こんにちは先輩!!
地域連携

編集／別府大学・別府大学短期大学部 広報室 発行日／令和元年9月30日 印刷／佐伯印刷株式会社
別府大学・別府大学短期大学部 〒874-8501 大分県別府市北石垣82 TEL.0977-67-0101
禁断断転載



LINE



真理はわれらを自由にする

Be-Museum



「はぜるもの」

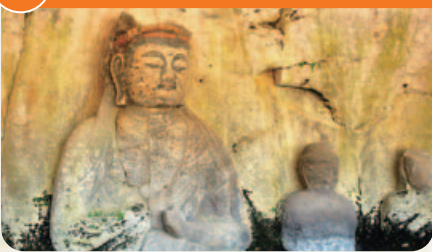
阿部 亜紀 (国際言語・文化学科 絵画コース 平成30年度卒業)

弾けて飛び散るもの。行き場が無い気持ちを溜め込んで、
一杯一杯になったものが弾け飛び散るさまは気持ちが良く、
その瞬間を描けたらと制作しました。
(182×364cm パネル・油彩)

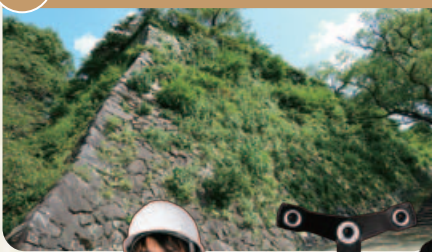
第74回 石垣祭
テーマ「瞬」
2019.11.2 sat & 3 sun
会場 別府大学別府キャンパス
毎年恒例、沖縄県人会による
エイサーなど豪華なイベントが
目白押し。模擬店も多数
参加予定!

卒業生が携わっている九州の文化財たち

1 臼杵石仏(大分県)



2 延岡城(宮崎県)



3 鶴丸城(鹿児島県)



九州は文化財の宝庫です。世界文化遺産に登録された潜伏キリシタン関連遺産、沖ノ島、明治日本の産業革命遺産に限らず、無数の文化遺産が私たちの周りには点在しています。これらを守り、未来へ繋いでいくのは、今を生きる私たちの使命でもあります。別府大学が採択された私立大学ブランディング事業「九州における文化遺産保護研究の拠点形成のための基盤整備事業」について、これまでの取り組みと今後の展望をご紹介します。

4 阿蘇神社(熊本県)



5 沖ノ島(福岡県)



6 三重津海軍所跡(佐賀県)



7 潜伏キリシタン関連遺産(長崎県)



九州の文化遺産を 守る



このほかにも九州各地の文化財保護の現場で卒業生たちが活躍しています

別府大学アーカイブズ



亡き女学生を偲ぶお地蔵様 「バレンタイン地蔵」



大学の正門を出て、大学通りを山側に歩いていると左手に小さな祠があります。

いつの頃からか学生たちの間で「バレンタイン地蔵」と呼ばれ、携帯電話がない時代、サークル活動の集合場所や、恋人たちの待ち合わせ場所として親しまれていました。

このお地蔵様は、当時の短大生活科食物課程(現在の食物栄養科)の学生だった木崎明美さんが不慮の事故で亡くなったことを偲び、ご遺族によつて事故現場に建てられました。事故に遭ったのは卒業間近の昭和45年2月14日。それが「バレンタイン地蔵」として、脈々と後輩へ語り継がれてきました。

先日、このお地蔵様について調べていた本学職員が、明美さんの弟の木崎俊造さんにお会いすることができました。亡き姉を思い、バレンタインデーは決して楽しい日ではなかったと語る俊造さんでしたが、学生たちの間で親しまれていたことを喜んでくださいました。



明美さんの弟 木崎俊造さんと
瀬戸山賢介総務・研究課長

明美さんのお墓には、当時学長だった佐藤義詮先生の詩が刻まれています。

佐藤義詮先生の詩

うつり行く花のいろこそ悲しけれど
ただ一輪のあじさいににて
何事ぞ天に憤りあり若き娘の
若きいのち去りし如月

Be-News NO.119 CONTENTS

03	特集
	九州の文化遺産を守る
08	学科からのトピックス
12	学長インタビュー
13	研究室訪問 学びのトピラ
	文学部 国際言語文化学科 教授 浅野 則子
14	クローズアップ 別大生
	道下 裕太 (食物栄養学部 発酵食品学科 3年)
	佐藤 広登 (短期大学部 専攻科 初等教育専攻 1年)
16	キャンパスボイス
	テーマ／海外に行つて何をしたいですか?
17	サークル紹介
	ワンダーフォーゲル部 天文部
18	卒業生インタビュー こんにちは先輩!!
	越田 剛史さん (文学部 芸術文化学科 視覚伝達デザイン卒業)
	西野 恵菜さん (短期大学部 食物栄養科 卒業)
20	学園からのお知らせ
22	地域連携
23	インフォメーション

九州の文化財を次世代へ遺すために

別府大学ブランディング事業の取り組み

文化財保護を通じた絆づくり

九州の文化遺産を 守ろう

別府大学は、文部科学省が募集した「平成28年度私立大学研究ブランディング事業」に採択され、平成31年3月で3年間にわたる事業期間を無事に終了しました。

大学の独自色を打ち出すこと（「ブランディング」）を目的に創設された本事業で取り組んだテーマは「九州における文化遺産保護研究の拠点形成のための基盤整備事業」。その契機になったのが平成28年の熊本・大分地震です。この地震は、地域の文化財にも甚大な被害を及ぼし、その修復・再建のための保存対策研究、ならびに地域の連携確立は急務とされてきました。これまで文化財に携わる専門人材を数多く輩出してきた別府大学としては、この事業を通じて九州の各自治体等と連携しつつ、かけがえのない文化遺産の保護に寄与するのは私たちの使命であるとの思いで、今回のテーマを掲げたのです。

ブランディング事業に 取り組む意義とは

別府大学のブランディングを考慮するうえで浮かび上がったのが、史学・文化財学科が積み上げてきた実績の数々と、「西日本随一の研究拠点」とまで称されるようになった社会的評価です。本学は、比較的小規模な大学であるにも関わらず、博物館を3館有し、また3D測量をはじめとする秀でた専門技術と知識が集積し、考古学関係者の間では常に注目を集める存在になっています。これらは建学の精神「真理は



熊本城の古城堀端公園で開催された「熊本城石垣3D計測現地セミナー」には自治体関係者や学生を含め15名が参加しました。

われらを自由にする」を抛り所に、故・賀川光夫教授をはじめ高邁な志をもった先人が集まり、共に築いてきた成果と考えられます。

温泉都市・別府という土地に生まれた大学が、本事業に取り組むことにも意義があります。もともと大分県は多種多様な文化財を有する地ですが、ある意味、温泉そのものも文化財としての側面を持っているからです。これは温泉を起点に健康、福祉、食、文学、芸術、観光など、あらゆる面で別府独自の文化を生み出してきたことが、それを表しています。

そのような観点からいえば、別府大学の学科には、そのすべてが集約されているともいえます。

文化遺産でつながる 九州の絆を未来へ

本事業では、被災地域を中心に文化遺産の保存力を向上させるため、3Dスキャニングレーザーシステムをはじめ最新鋭の研究機器を導入し、文化財の保存・保護への基盤研究を確固たるものになるよう努めました。これらはさっそく復興に向けた熊本城の現場でも活躍しています。



熊本県阿蘇市の阿蘇神社楼門の地震による崩壊も、ショッキングなニュースでした。（阿蘇市教育委員会提供）



平成29年九州北部豪雨で被災した日田地域へも、災害支援ボランティアとして別府大学の学生と教職員が駆けつけました。



史学・文化財学科の学生は各地の発掘調査の現場へ足を運んでいます。その経験が災害復興時にも役立っています。

自治体同士のネットワークづくりも、大きな反響を呼びました。これまで文化財をテーマに連携する機会が乏しかったのですが、本事業を通じて「九州文化財保存推進連絡会議」「九州文化財保存学研究会」が発足し、地域の文化財にどう向き合っていくか情報交換も活発になっています。さらに文化財保護をテーマとしたシンポジウム（文化財保存研究会）等のイベントも開催することで、市民レベルでの意識も高まりつつあります。



熊本城を――別府大学が熊本城の 石垣計測に協力

次世代に遺すモン



くまモン
©2010熊本県
くまモン



3Dスキャニングレーザーを用いた熊本城内石垣の3D計測調査。計測したデータは熊本市と共有しています。

熊本城の復旧工事が急ピッチで進んでいます。すべての工事が完了するのは2037年ですが、今年10月5日からは部が特別公開予定です。

取り組んでいます。熊本市の熊本城調査研究センターには本学卒業生も在籍し、現地と共同で検討しながら3D計測調査を行っています。調査では、地震による被害を逃れた箇所をデータ化して記録に残し、仮に災害に遭遇した場合でも復元が可能に



熊本城大天守閣の石垣積み直し作業の様子。災害に遭う前の完全復元を目指すには、当時の計測データが必須となります。

熊本城は熊本県民の誇りであり、アイデンティティとも言える存在です。災害発生直後は人命救助を優先するのは当然のことですが、実は復興の段階になると文化財の存在が重要になってきます。東日本大震災で陸前高田の「奇跡の一本松」が復興のシンボルと言われるようになり、被災博物館を作る動きになったのも、その一例といえるでしょう。

熊本城の石垣計測への協力は、ブランディング事業の大きな柱として位置づけられ、現在も継続して

なっています。石垣の周辺に生えている雑草の伐採作業に始まり、3Dスキャニングレーザーと写真測量を用いた計測調査で石の位置や石垣の高さや勾配など、詳細に把握していきます。熊本城の石垣の総面積は約7万9千㎡、面数でいえば約980面あるのですが、そのうち崩壊していない半数が調査対象となり、地道な作業が続きます。

熊本城に限らず、九州には多数の城郭が残っています。本プロジェクトの役割は、ますます重要度が高まってくるでしょう。

SPECIAL COMMENT

別府大学の卒業生は私も含めて熊本市役所の文化財専門職として6名が勤務しており、熊本城調査研究センターにはそのうち3名が勤務しています。実は私が熊本城調査研究センターに着任したのは、震災が起きる2週間前のこと。震災後は復旧事業班に所属し、あらゆる調査を行ってきました。この仕事に取り組むにあたり、私自身が大切にしていることは、学術面だけに終始することなく、いかに一般の方々に文化財への関心を高めてもらうか。大切な文化財を、まちづくりにまで活かせるようにしたいですね。



熊本市経済観光局
熊本城調査研究センター
文化財保護主事
嘉村哲也さん
（平成21年 別府大学大学院
文学研究科
歴史学専攻修了）



EVENT #002

event
report『被災文化財の修復と保存』
—東日本大震災と九州の自然災害を通して—

《展覧会『被災文化財の修復と保存』》

別府大学附属博物館
本館では、東日本大震災
で被災した文化財74点の
展示が行われました。
土器、絵馬、歌舞伎衣
装、昆虫標本箱、リードオ
ルガンと、それぞれの文化
財の素材は多種多様。津
波の直後は海水による塩
分やヘドロ、油分が付着し

ていましたが、これに脱
塩、洗浄等の安定化処理
技術を施し、試行錯誤の
末に復活させたそうです。
さらに会場では熊本・
大分地震と、九州北部豪
雨で被災した文化財のパ
ネルも展示。被災文化財
のリアルな実状に触れる
ことができました。



EVENT #003

《ワークショップ『被災資料の安定化処理技術』》

ワークショップでは、陸
前高田市立博物館の浅
川崇典氏、荒木優氏が講
師となり、被災資料の安
定化処理技術を実践。津
波で被災した民具資料や
紙資料の安定化処理手
順を、詳しくレクチャーし
ていただきました。

ベースにした技術の紹介
には説得力があり、仮設
陸前高田市立博物館で
「現地で行う」という方針の
もと、現場での苦労話な
ども聞け、参加者にとつ
ては大きな手応えがあつ
たワークショップになりま
した。



EVENT #001

《シンポジウム『被災文化財の修復と保存』》

別府大学研究ブラン
ディング事業実行委員会
では、『被災文化財の修
復と保存』—東日本大震
災と九州の自然災害を通
して—を企画しました。
これは東日本大震災で被
災した文化財のレスキュー
活動を実施している「津波
により被災した文化財の
保存修復技術の構築と専
門機関の連携に関するプ
ロジェクト実行委員会」と

の共同プロジェクトです。
2019年8月4日(日)
には東日本大震災や熊本・
大分地震の文化財保護を
テーマにしたシンポジウム
を開催。全国各地から文
化財関係者が集い、各種プ
ログラムを通じて貴重な
情報を共有できました。
神庭信幸氏(東京国立
博物館名誉館員)は基調
講演で、震災発生から今日
に至るまでの軌跡を紹介し

震災を機に浮かび上がった
文化財に関する課題につ
いて考えさせられました。
事例発表では東日本大
震災でのレスキュー活動報
告に続いて、熊本・大分地
震で被災を受けた熊本
城、阿蘇神社の取り組み、
さらには九州北部豪雨で
水害を被った日田の事例
等を各地の講師が紹介。
現場写真を交えた生々し
いレポートと、文化財保護

における実践活動につい
て、様々な角度から話を聴
くことができました。
シンポジウムの最後は
講師全員が登壇してのパ
ネルディスカッションを実
施。それぞれの立場で考え
る課題や提言など、有意
義な意見交換が成されま
した。その後の質疑応答で
も、「復旧に伴う資金面に
ついて」「文化財の選別と
優先順位はどうするか」
「メディア対応の注意事
項」「修復に携わる職人の
後継者不足」といったより

具体的な問題について討
議されました。
限られた時間でしたが、
文化財に対する意識の高
さが伝わるシンポジウムと
なりました。



文化財担当者に聞く



地域からの期待

地域ぐるみで
文化財を守る動きを
支えてもらいたい大分県教育庁
文化課文化財班

三重野 誠 参事

Message 01

大分県は全国的に見ても文
化財が多い地域です。都道府県
指定の文化財の点数は全国5
位、なかでも神社仏閣・石塔など
全て含めたものは209点と全
国1位となっています(いずれも
平成30年5月1日現在)。これ
ら文化財をどう維持管理してい
くかの姿勢が問われるなか、別
府大学のブランディング事業は
頼もしい存在です。

とりわけ自治体間のネット
ワークが構築できたことは、素晴
らしい取り組みです。これまでの
各自自治体による文化財保護には
限界があり、担当者の個人的な
人脈に頼ることも多々ありまし
た。「九州文化財保存推進連絡
会議」「九州文化財保存学研究
会」の発足で、現場に即したノウ
ハウを共有しながら、組織的な
取り組みも可能になってきま
す。何よりも専門的知見を有す
る研究機関との連携は大きなメ
リットです。また今年度から都
道府県で文化財保存活用大綱を

策定するようになっており、ここ
でも建設的なアドバイスを期待
しています。
大分県としては、県民の皆さ
んに文化財の価値を再認識して
もらう取り組みを検討していま
す。やもすれば、専門的な研
究者だけが価値を知っているよ
うに思われがちですが、周遊ツ
アーや、フォトコンテストの開催
等を通じて、みなさんに文化財
を身近に感じて、自ら守り伝え
ていきたいという気持ちになっ
てほしいと思っています。

自然災害から
文化財を守る
施策を共有したい鹿児島県鹿屋市教育委員会
生涯学習課 文化財センター
稲村 博文 所長

私は別府大学史学科の卒業生
で、在学中より弥生時代から古
墳時代に移り変わる時期の住居
跡や遺物等の研究に取り組ん
できました。子どもの頃から考古学
に興味を持っていたのですが、現
在は鹿児島県鹿屋市の文化財セ
ンター所長を務めています。母校
が九州全県の自治体を繋ぐ文化
財保護事業に取り組んだことを
誇りに思っています。

これまで
別府大学
とは、中尾
地下式横
穴墓群か
ら出土した
象嵌装大
刀(どうがんそうたち)の共同研
究を行っており、本件も力添えを
お願いしたいところです。
当地の大きな課題は、台風の
直撃が多いことです。文化財が旧
傾斜地や川の近くにあることが
多く、崖崩れや川の氾濫を毎回、
危惧しています。石像など移動で
きるものは、地域住民が一時避難
をさせることもありますが、限界
があります。指宿市の今泉島津
墓地、奄美市の資料館では土砂
崩れで埋没する事故もあり、予
断を許しません。

災害時対策は九州の自治体にとつて共通した悩みだと思われま
す。今回の連絡会議を通じて、最
善策を練り上げられたらと考え
ています。

車田の田の神様(鹿屋市指定文化財)。→
水田近くの崖下から水田を見守っている田の神様。



実践英語カリキュラム始動！

新任教員紹介

皆さん、はじめまして。今年度から新しく国際言語・文化学科の英語・英米文学コースに赴任した金城國夫です。専門は言語学で、人間が頭の中に持っている「ことば」を操る能力「文法」の研究を様々な言語を対象に行っています。

学生時代にはイギリスの大学に1年間、アメリカの大学院に5年間留学していました。英語の学習にはとても苦労しましたが、振り返ってみると、「英語」を「勉強する」のではなく、「英語」で「新しいこと」(私の場合は言語学)を学び、発信するという経験が英語習得の一番の近道になったのではないかと思います。



ニュージャージー州立ラトガーズ大学の言語学科校舎

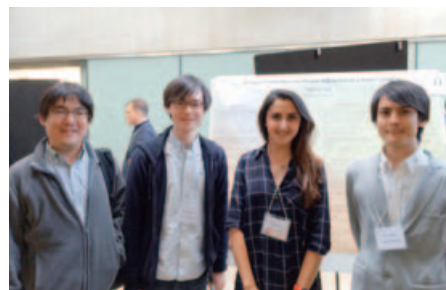
別府大学でもアイルランドやイギリスへ短期・長期で留学できる制度が整っています。また英語コースでは、今後コミュニケーションに重点を置いたより実践的なカリキュラムにシフトしていきます。私の専門や留学経験を活かし、英語や留学に興味のある皆さんの力になっていきたいと思っていますので、気楽に研究室に遊びに来てください！

02

国際言語・文化
学科



ニューヨークにて



アメリカで学会発表の様子

食物栄養学科「地域公開講座」を振り返って

地域住民対象公開講座 第30回記念大会

01

食物栄養
学科

別府大学食物栄養学科は大分県唯一の管理栄養士養成校として、地域における食と健康を担う教育拠点の役割を担っています。このため、別府市の地域住民の方々との交流を深め、食物栄養学科の教育内容に関心を持っていた、相互に協力できる関係性を築くことが重要と考えて、開学2年目の平成15年から年に1〜2回「食で健康づくり」をテーマとして地域公開講座を開催してきました。この講座では、学生が主体となつて講座の内容を検討し、調理指導等を行っています。この講座も2019年2月で30回目を迎えることができ、これもひとえに継続的にご参加いただきました地域の皆様のおかげであると切に思っています。

開講当初は、市報などで参加者を募集するものの定員の20名がなかなか集まらず、方々駆け回りなんとか定員を満たすか満たさないかといった回が続きました。しかし、継続して行うことで少しずつ参加者も安定して、その参加者が新しい参加者を御誘いくださり、定員の20名を超える回も出るようになっていきました。

講座では、その時々話題に開講当初は、市報などで参加者を募集するものの定員の20名がなかなか集まらず、方々駆け回りなんとか定員を満たすか満たさないかといった回が続きました。しかし、継続して行うことで少しずつ参加者も安定して、その参加者が新しい参加者を御誘いくださり、定員の20名を超える回も出るようになっていきました。

開講当初は、市報などで参加者を募集するものの定員の20名がなかなか集まらず、方々駆け回りなんとか定員を満たすか満たさないかといった回が続きました。しかし、継続して行うことで少しずつ参加者も安定して、その参加者が新しい参加者を御誘いくださり、定員の20名を超える回も出るようになっていきました。

開講当初は、市報などで参加者を募集するものの定員の20名がなかなか集まらず、方々駆け回りなんとか定員を満たすか満たさないかといった回が続きました。しかし、継続して行うことで少しずつ参加者も安定して、その参加者が新しい参加者を御誘いくださり、定員の20名を超える回も出るようになっていきました。

しより 胥吏 —エリート官僚を支える存在—

新任教員紹介

はじめまして。新任の宮崎聖明です。私は中国の宋・明代の政治制度の研究をしています。7月26日に「官」と「民」の間―近世中国の胥吏」と題して講演を行いました。高校世界史の教科書などでは、中国では「科挙」という試験に合格したエリート官僚が皇帝のもとで政治を担当した、とされています。しかし彼らだけで役所の毎日の仕事をこなすことは困難でした。科挙官僚を補佐する者、それが「胥吏」です。

胥吏とは、地元で任用され、書類の作成や帳簿の管理など役所の運営に欠かせない仕事をを行います。中国ではエリート官僚は自分の地元には赴任できない決まりがあったので、地方官に任命されると知らない土地で仕事をすることとなります。しかも、原則3年間という短期間で転出していくため、地元の人間である胥吏は庶民との間をつないでくれる貴重な存在だったのです。

03

史学・文化財
学科



地方の役所(清代。復元)



胥吏が作成した文書
の一例(明代)



第29回で作りました。テーマは蒸し料理です



試食時間も参加者同士交流を深めます



地域住民との調理



学生の試作

う予定です。いくつかのイベントで配布し、その後大学のホームページに公開する予定です。使い勝手などに関してご意見を頂けると助かります。

このレシピ集が皆様の健康維持増進の一助になることを願っています。

天皇の食卓から日本の文化を学ぶ

食物栄養科「料理講習会」



子羊背肉のベルシャード

2019年5月1日、元号が平成から令和に変わりました。本学では、本年6月15日に、新天皇の即位を念頭におき、天皇の食卓料理講習会と講演会を実施しました。

午前は、宮内庁大膳課（洋食担当）に勤務されておりました工藤極先生のレシピをもとに、「ヌーベル・キウジーヌ・タカハシ」のオーナーシェフ高橋準一先生が料理講習会を



谷部金次郎先生の講演会



高橋準一先生による料理講習会の様子



作った料理は残さず頂きました！

自分だけの焼酎を作ろう！

九州学生本格焼酎プログラム

2019年5月23日、24日、九州本格焼酎協議会主催の「第13回九州学生本格焼酎プログラム」を開催しました。23日には講演会とさき酒会を行いました。焼酎メーカーによる講演では、本格焼酎の種類や特徴、製造法、機能性と楽しみ方などを学びました。また武庫川女子大学木下健司教授による講演では、遺伝子型により5つのタイプにアルコール体質を分類し、タイプ別のお酒との付き合い方を学び、自分自身の遺伝子型の検査を行いました。さき酒会は3年生以上の学生が対象で、九州の各焼酎メーカーが原料（米、麦、芋、そば）の違いによ

りどのような特徴があるのか解説した後、香りや味で原料を当てるクイズが行われました。24日は、三和酒類（株）酒の杜21製造場の工場見学を行いました。麦焼酎の作り方や各設備の説明が行われ、学生は質問しながら、熱心に聞き入っていました。また、麦焼酎発酵中のもろみをまぜる糧入れという作業や3種類の原酒をブレンドする作業を体験しました。原酒の配合を少し変えるだけで香りと味が大きく変化するため、学生は試行錯誤を重ねて、自分が美味しいと思う焼酎を作り出していました。



工場見学で体験学習



3種類の原酒をブレンド！



木下健司教授による講演

楽器演奏やものづくりを通じて交流を！

iichikoアトリウムプラザ「アトリウム遊園地」へ参加！

2019年7月13日、iichiko総合文化センターにて「第3回アトリウム遊園地 ARTS（音楽と美術）がうみだすキッズパーク」が開催され、短期大学部初等教育科研究会を中心に約40名の学生が参加しました。0歳から小学生を対象としたイベントで、ものづくりや楽器、ミュージカル、クラシックバレエなど盛りだくさんのイベントです。

ステージではMPS研究会「劇団Smiley」が「楽しい人形劇のはじまりはじまり！」を披露し、「伝承あそびを楽しもう！」（伝承あそび研究会）、「いろいろな楽器を聴いて、体験しよう！」（ハンドベルミニコンサート）（ハンドベル研究会）、「手作りおもちゃを作って遊ぼう！」（ボランティア学生）の各ゾーンには多くの子どもたちと保護者が訪れ、楽器体験やおもちゃ作りなどを通して学生たちとさまざまな交流を深めました。



劇団Smileyによる人形劇



伝承あそびコーナー



ハンドベル体験コーナー

強豪鹿屋体育大を破って準優勝！

国際経営学科

第64回西日本学生剣道大会！

2019年5月24日、25日の2日間、福岡県立久留米総合スポーツセンター体育館において、第64回西日本学生剣道大会が開かれました。この大会は、西日本各地より101校が参加して覇権を争うもので、本学男子剣道部は今回準優勝しました。特筆すべきは出場メンバーが国際経営学部4年生の山下君、内橋君、大塚君、岡田君を主力として全員が国際経営学部の学生であることです。今回は、同志社大に惜敗しつつも、強豪の鹿屋体育大に競り勝つての準優勝であり、大会関係者からの評価も高いものでした。また、彼らは社会



準優勝おめでとう！

生活面においても礼儀正しく、勉強面でも真面目に取り組んでおり文武両道に努めているようです。今後の彼らのさらなる活躍を期待します。

難病に抗い、生きていく

落水洋介氏講演会

2019年7月6日に落水洋介氏をお招きし、ソーシャルワーカーを目指す学生に講義をしていただきました。落水氏は、2013年に100万人に1人の難病と言われる原発性側索硬化症（PLS）との診断を受け、現在は、電動車いすを使用しながら生活されています。講義のなかで落水氏は、「難病だと分かった時はとても落ち込んだが、前向きに考える練習をたくさんして、寝たきりの未来は明るいと思えるようになった」「今が一番幸せ」「何でも一人でし

ようとせず、支え合う仲間を増やすことが大事」と話してくださいました。短い時間でしたが、難病を抱えながらも、明るく前向きに生きる落水氏の姿からたくさんを学ばせていただきました。講義が終わって



講義が終わって

人間関係学科

人間関係学科



文学部 国際言語・文化学科教授
浅野 則子
Noriko Asano



研究室訪問 学びのトビラ Vol.11

別府大学の学びの最先端をレポートします。

プロフィール

1956年 横浜生まれ。日本女子大学大学院修士課程修了。専門は古代和歌史。著書『大伴坂上郎女の研究』（翰林書房）・『坂上郎女 人と作品』（おうふう）・『天象の万葉集』・『女人の万葉集』（笠間書院）・『萬葉集名花百種鑑賞』（新典社）など。



卒業生からの寄せ書き。浅野先生の猫好きは学生にも浸透しています。

変わるもの・変わらないもの

万葉集と古今集の間

国際言語・文化学科日本語・日本文学コース および大学院文学研究科日本語・日本文学専攻で古典文学を担当しています。専門は古代和歌史です。和歌は日本の古典文学において長い間中心的位置を占めていましたが、その和歌表現がどのように変容していくかということの研究をしています。

私の研究の中心は、万葉集の中では一番新しい時代、万葉集の最終的な編纂者とされる大伴家持の時代の和歌です。万葉集と次の和歌集との間にはおよそ150年の空白がありますが、その時代にも和歌は作られていました。万葉集のどのような表現が次の時代へと繋がっていたのか、変わっていく表現は何か、変わらない表現は何かということを知りたいと思います。大学生の頃から一人の歌人、一つの歌集ではなく、「時代」の和歌というものを考えていました。卒業論文を書く時に、指導教員に「和歌集の空白期を埋めます」などと大風呂敷を広げてしまいました。そのことが現在に至っています。まだ、万葉集から先には進んで行けそうにありません。

変化に富む万葉集

飯沼賢司新学長インタビュー

今年度4月に学長に就任した、飯沼賢司学長に大学への思いと今後の展望をお聞きしました。

—学長は、中世史研究から環境歴史学の提唱など、幅広い学問をされてきました。



早稲田大学では、荘園制の枠組みから家制度、女性史まで研究を進めてきましたが、大分県の豊後高田市で荘園村落遺跡を調査して、次第に、ヒトと環境の関わりに注目するようになりました。それが、「環境歴史学」の提唱に繋がっています。

—また、六郷満山や宇佐神宮の研究もされ、海外でもよく発表されていますね。



「八幡神とは何か」を著した時、評論家の立花隆氏が書評で取り上げたこともあり、社会的にも注目していただけたことは、地道な研究の成果ではありましたが、嬉しかったですね。最近では、宇佐神宮から中津の方に続く、条里制に基づく道の調査研究を、フランスのモンペリエ大学の学者とともに行なっています。彼らは、ローマ帝国の研究者ですが、共通していると言っていますね。学問に国境はありません。

—学長に就任し、矢継ぎ早に今後の方針を表明し取り組んでいますね。



別府大学は一地方大学では法人が設立され110周

年を迎えた伝統ある学園です。また、創立者・佐藤義詮先生は、日本文化史に残る文化学院の大学部1期生であり、その伝統を継ぐ大学です。その佐藤先生のもとに、川島つゆ先生（国文学）や賀川光夫先生（考古学）など、日本を代表する学者が集いました。

—その中で、特に、「地域に学ぶ」と言うことも強調されています。



私自身、豊後高田の荘園村落を調査する時、地域の人々を尋ね、また、祭りに参加し、色々なお話を聞いてきました。それまで古文獻を対象に研究していましたが、地域の生きた情報や地域の人々とのつながりは、本当に勉強になったのです。学生は、大学の学問とともに、地域社会から学べることは大変多いと確信しています。

—最後に、学生に一言。



長い人生、色々な社会変化の中でもブレない座標軸を築いて下さい。師との出会い、友との出会い、ひよっとすると、新たな自分との出会いかもしれませんね。そういう大学生活を応援したいと思っています。

に初春の令月、気淑く風和ぐ。これは美しく穏やかな春の日という意味です。こう書くことで、その宴会がいかに素晴らしいものであったかを伝えています。そのような元号の意味を考えながら素晴らしい時代を作っていくたいものです。

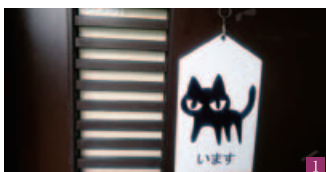
「令和」の xuất

あらたな元号となった「令和」は、まさに万葉集が大きく変容しようとしている時代のものです。大宰府で時の長官大伴旅人は九州と大宰府の役人を集め宴会を開きました。そこでは梅の花をテーマに歌を作ることが求められました。中国ではこのようなことが行われていたが、大伴旅人はこの日本では和歌によって梅を歌ってほしいと宣言しました。その宴会の序文に「令和」があります。令和は序文でこう記されます。「時

に万葉集が大きく変容しようとしている時代のものです。大宰府で時の長官大伴旅人は九州と大宰府の役人を集め宴会を開きました。そこでは梅の花をテーマに歌を作ることが求められました。中国ではこのようなことが行われていたが、大伴旅人はこの日本では和歌によって梅を歌ってほしいと宣言しました。その宴会の序文に「令和」があります。令和は序文でこう記されます。「時

～ Other sides of Noriko Asano ～

- 1 猫が好き。研究室の入り口で分身が歓迎しています
- 2 ムーティが好き。イタリア人の指揮者リッカルド・ムーティの緩急のある華麗な演奏に魅せられています。来日公演がある時は、仕事の合間を縫って飛んでいきます
- 3 宝塚が好き...と言うより、第一志望でした!宝塚へ行って舞台メイクをして舞台衣装を着て撮影したものです。担当者に「似てはる」と言われたのが心の支えです
- 4 田辺聖子が好き。「軽薄」ではなく「軽妙」な軽やかさ。「訳知り顔」ではなく「にじみ出る」知性。田辺聖子の描く生活の機微に心引かれます。奥ん中の色紙は私が親しくしている元宝塚の組長のために田辺聖子が贈った物。今は私の宝物です。(田辺聖子原作の『新源氏物語』上演の時の物)





勉強もサークルにも ポジティブ全開!! 明るいクラスづくりが できる先生になりたい

いつも笑顔でクラスのムードメーカーの佐藤広登さん。
専攻科の仲間との時間を大切にし
サークルやアルバイトにも全力で取り組んでいます。

小学校の先生になりたいと思ったきっかけは？

親戚の中では一番歳上で、お盆や正月の休みなどで親戚が集まると子どもたちの世話役でした。保育園の先生になりたいくて初等教育科へ進学しましたが、実習などを行う中、小学校の先生の仕事にやりがいを感じ、今は小・幼教諭1種免許状の取得ができる専攻科で学んでいます。

佐藤さんはどんな小学生でしたか？

実は小学校の時、自分は弱虫だと思っていて、自分に自信がありませんでした。そんな時担任の先生や両親が、自信を持ちなさいと励ましてくれ、次第にポジティブに物事をとらえられるようになりました。これまで出会った先生たちが、自分が落ち込んだ時や失敗した時に、励ましてくれたり、ほめてくれたりしたので、がんばることができました。

専攻科での勉強はいかがですか？

平日は5限目まで授業が詰まっていて結構大変です。専攻科では、教員採用試験に向けた対策をしっかりとくれます。勉強だけでなく、サークルではフットサル部に所属しており、他学科の先輩や友達ができました。平日は近所のコンビニでバイトもしているので、休みの日はたっぷり睡眠をとって、疲れをとるようにしています。

小学校の先生はピアノが必須ですが、 不安はありませんでしたか？

初等教育科に入学するまでピアノを弾いたことがなく、入学してから苦戦しました(笑)でも、個室のピアノ室など練習する環境が整っているので、今はなんとか弾けるようになりました。

将来はどんな先生になりたいですか？

今、インターネットで勉強を学ぶことができますが、学校でしか学べないこともあります。学校では、同級生や先生、地域の人たちなど、人間関係の輪を広げることができます。人との触れ合いの中で、自分自身への気づきも発見できます。毎日学校に来ることが楽しくなるよう、自分も子どもたちをたくさんほめてあげられる先生になりたいです。

在学生に向けてメッセージをお願いします。

同じ夢を目指す仲間と勉強できるのは、学生のうちだけです。クラスの仲間と一緒に過ごす時間を大切に、充実した学生生活を過ごしましょう!



同じ夢に向かっての仲間同士、励まし合って勉強をしています



フットサルサークルの仲間と

発酵でまちを活性化したい! 温泉シティ別府ならではの “発酵”体験を提案!

別府市の活性化を図るビジネスプランをクラウドファンディングで資金調達するプレゼン大会「One Beppu DREAM」(別府市主催)のファイナリストに選出され大舞台で夢を語った道下さん。
蔵元だった祖父に憧れ、酒造りの道を目指してがんばっています。

発酵食品学科に入学したきっかけは？

祖父は代々続く蔵元で焼酎を造っていました。自分が小学4年生の時に亡くなったのですが、その時、祖父が杜氏や職人の方に慕われて、尊敬されていたことを知り、祖父をカッコいい!と思い、酒造りに興味を持つようになりました。高校を卒業したら、酒造りについて勉強をたく、醸造が学べる発酵食品学科への進学を決めました。

学科での勉強はいかがですか？

「発酵」の面白さに興味が高まっています。微生物の働きは、ヒトにとって有益であれば発酵、有害であれば腐敗と定義されることが面白いですね。3年生後期の「酒類生産学実験」でいよいよ醸造の勉強が始まるので楽しみです。焼酎に一番関心がありますが、日本酒やワインなどにも興味を持っています。

今年の3月の「One Beppu DREAM」 について教えてください。

別府の乳酸菌を探し、その乳酸菌を使用し、宿泊客の方に朝食用のヨーグルトを作ってもらい体験の事業化を提案しました。学部のフランス研修に参加している時、1次審査の通過の知らせが届き、2次面接はバス移動前にインターネットを介して行われ、まさかのファイナリスト(90名中6名)選出となりました。研修から帰国して1週間でプレゼンをまとめ、本番を迎えたという、今思い返してもよくやったな...と思うほどのハードな挑戦でした。

市内外の企業の方や市民など大勢の観衆の 前でのプレゼンはいかがでしたか？

緊張して本番のことはほとんど覚えていないのですが、終わってみると大きな達成感がありました。企業の方や市内の他大学の方ともつながりができたことがよかったですね。今は、カクテルの新商品を企業に提案するよう準備をしています。「One Beppu DREAM」をきっかけに、いろいろな夢が広がっています。

在学生に向けてメッセージをお願いします。

大学生の間に何事にもチャレンジしてほしいですね。特に、別府市は学生への支援が盛んです。学生が地元企業の方や地域の方と触れやすい環境があります。学生のチャレンジを応援してくれるまちですので、学びの機会を積極的に生かしてほしいです。



食物栄養科学部
発酵食品学科3年
道下 裕太
(鹿児島県 鹿児島高校出身)



ブランデーに氷砂糖、リンゴを漬けた自家製果実酒は同級生にも好評



「One Beppu Dream」のプレゼン。緊張のあまり当日の記憶がほとんどないそう



社会福祉法人明治福祉会
桜町こども園 栄養士
西野 恵菜さん

短期大学部 食物栄養科平成28年度卒業
(大分県 大分東明高校出身)



おいしい思い出を
たくさん作ってほしい

株式会社「Design totte」代表取締役
大分県デザイン協会 会長
越田 剛史さん

文学部 芸術文化学科 視覚伝達デザイン専攻
平成16年度卒業(大分県立大分南高校出身)



デザインの先を見つめ
クライアントの夢に伴走



「手際もよく、安心して仕事を任せられます」と、先輩職員からも信頼が厚い西野さん。

食へることは生きること――
乳幼児期は、食の基礎を築く大切な時期です。こども園の給食を預かる栄養士は、園児の心身の成長・発達を支える安全・安心な食事を提供するとともに、さまざまな食体験を通じて、子どもたちに食べる楽しさを伝える役割があります。大分市中心部にある桜町こども園の栄養士、西野恵菜さんは130名の園児の成長を調理室から見守っています。
西野さんは、乳幼児施設の栄養士・調理師を目指して、本学短期大学食物栄養科へ進学。学生時代は、食育普及活動グループ「6代目育ドル娘」のメンバーとして、保育園や地域のイベントで食育ステージを行い、食育の伝道師として活動に励んでいました。2年生の時、熊本・大分地震を体験。自分たちにも支援できるこ



災害援助用炊飯袋を使い、ご飯や茶わん蒸し、ちゃんぽん、から揚げなどの作り方を紹介しています。

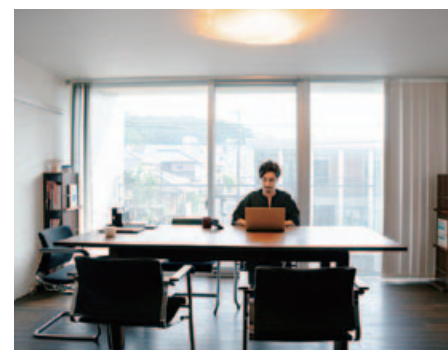


とはないかと考え、授業で学んだ災害援助用炊飯袋の調理法を動画で伝えようとメンバーで動画制作にも取り組みました「育ドル娘の活動は、食の大切さを学ぶ貴重な経験でした」と、学生時代を振り返っていました。
職場では、栄養士として調理も担当するほか、栄養計算や食材の発注も行います。月に一回のお誕生日会には特に気合が入り、飾り切りや盛り付けを工夫した特別メニューで、子どもたちを楽しませています。「給食がこども園の楽しい思い出になってくれたらうれしいですね。子どもたちの元気を支える栄養士を目指していきたいです」と西野さん。子どもたちからの「おいしいね」を楽しみに、毎日給食やおやつづくりに励んでいます。



会員制でおもてなしをコンセプトとしたサービスを提供。県内のタクシー業界では珍しい取り組み。

デザイナー・クリエイティブディレクターとして、県内企業や自治体の仕事を多数手掛けている越田剛史さん。大分県デザイン協会の会長として、県内のクリエイティブ活動の活性化にも尽力しています。
越田さんは、本学の芸術文化学科(現：国際言語・文化学科)で視覚伝達デザインを専攻。「当時の最新のパソコンが揃っていたのですが授業ではあまり使わず、デザインするとはどういうことかをひたすら学ぶ日々でした。僕のデザイン人生のすべてのはじまりは、ここでのストックな「デザイン思考」の授業のお陰です」と、越田さん。大学での学びが今の仕事の土台になっています。
越田さんの制作事例として、「ハーネスタクシー」があります。女性ドライバーを増やしたいという依



大分市中心部に、スタイリッシュな事務所を構えています。

頼に対し、車体のデザインを一新するだけでなく、女性ドライバーが活躍できる仕組みづくりを提案し、ドライバーの確保につながりました。ビジュアルをデザインするだけでなく、総合的なブランディングまで携わり、結果(成果)を出すことがデザイナーとしての使命としています。
地元大分でデザインを学び、大分を拠点にしている越田さん。「クライアントと想いを語り合える距離感を大事にしたいと思っています。大分で積み上げたつながりが僕の財産。デザインの力で大分を元気にしたい」と、大分への思いを語ってくれました。「デザイナーは技術だけでなく、熱量とネットワーク！そして歩を踏み出す勇氣」。母校の在学時代に熱い想いを期待しています。

学園からのお知らせ

明豊中学・高等学校創立20周年記念式典・記念講演11／1(金)別府ビーコンプラザにて実施

「明豊未来宣言」
今年、明豊中学・高等学校は創立20周年を迎えます。平成11年に「明るく豊かな心を育てる中高「貫校」として誕生し、生徒一人ひとりの夢を大切に育てる学校として、地域に根ざした教育を実践してきました。
令和元年度の教育目標は、「知性を磨き、技を磨き、心を磨き、『生きる力』を育てる」です。全国区の部活動の活躍(春の選抜や夏の全国総体等)もさることながら、目を見張る進路実績や高い国家試験の合格率など、文字通り文武両道での発展を遂げてきました。
本校では、来る11月1日(金)に「創立20周年記念事業」の



「環として、『記念式典』を別府ビーコンプラザ・フィルハーモニアホールにて行います。そして、式に続きまして『記念講演』を実施します。講師には「赤ちゃんポスト」で有名な、熊本市の慈恵病院・元看護部長 田尻由貴子氏をお招きします。田尻氏は現在も、「スタディライフ熊本」の名誉顧問として、「命の教育」の講演などで活躍されています。
また、高校の強化部(硬式野球・ソフトテニス・卓球・剣道)による『招待試合』(11／3、16、17、23)も予定されています。生徒・保護者だけではなく、市内中学生や近隣の一般の方々にも、全国レベルの試合を是非堪能していただきたいと思っています。(日程等の詳細は、本校のホームページで確認して下さい)
創立20周年を契機として、生徒・教師が一丸となり、明豊中学・高等学校が目指す新しい姿をこれからも発信し続けたいと考えています。

I 事業の概要

平成30年度は、学校法人別府大学第2期中期計画の2年目であり、学園の使命を達成するため、教育力の強化、地域連携の推進、組織ガバナンスの強化、経営基盤の強化等に積極的に取り組みました。
①教育力の強化
大学・短大では、ポートフォリオ学修支援システムを後期から試行稼働させ、教育の質保証システムの確立に取り組みました。また、科目ナンバリングを導入しました。教職課程の再課程認定については、改正法に基づいたカリキュラムに改編し、平成31年1月に認定されました。

キャンパス環境は、剣志寮の耐震改修工事、旧フアンヴィッチ寮30号館の解体工事、別府キャンパスのグラウンド整備、明豊グラウンドの整備、明豊キャンパス正門の改修、教室・体育館等の照明LED化などを進めました。
②地域連携の推進
公開講座の開催、校舎等の開放、学生ボランティア、地域に貢献できる人材の育成など様々な形で地域密着型の学園づくりを進めました。

事業活動収支計算書

科目		予算	決算	差異	
教育活動収支	収入	学生生徒等納付金(A)	2,798	2,790	△8
		手数料	42	43	1
		寄付金	10	43	33
		経常費等補助金	911	963	52
		付随事業収入	497	501	4
	支出	雑収入	241	233	△8
		教育活動収入の計(E)	4,499	4,573	74
		人件費(B)	2,727	2,699	△28
		教育研究経費	1,328	1,292	△36
		管理経費	444	551	107
教育活動収支差額	徴収不能額	8	6	△2	
	教育活動支出の計	4,507	4,548	41	
	教育活動収支差額	△8	25	33	
	教育活動外収支	収入	受取利息・配当金	103	96
その他の教育活動外収入			5	5	0
教育活動外収入の計(F)			108	101	△7
支出		借入金等利息	0	0	0
		その他の教育活動外支出	0	0	0
		教育活動外支出の計	0	0	0
教育活動外収支差額	108	101	△7		
経常収支差額		100	126	26	
特別収支	収入	資産売却差額	0	0	0
		その他の特別収入	86	91	5
		特別収入の計	86	91	5
	支出	資産処分差額	144	148	4
		その他の特別支出	0	0	0
		特別支出の計	144	148	4
	特別収支差額	△58	△57	0	
予備費		10	0	△10	
基本金組入前当年度収支差額(C)		32	69	37	
基本金組入額合計		△545	△588	△43	
当年度収支差額		△513	△519	△6	
前年度繰越収支差額		185	185	0	
基本金取崩額		577	577	0	
翌年度繰越収支差額		249	243	△6	

(参考)			
事業活動収入計(D)	4,693	4,765	72
事業活動支出計	4,660	4,696	36

(財務データ)	
事業活動収支差額比率(C/D)	1.4%
人件費比率(B/(E+F))	57.7%
人件費依存率(B/A)	96.7%

※中の金額はいずれも百万円未満を機械的に端数処理しているため、合計等の数値が一致しない場合がある。

③組織ガバナンスの強化

法人全体では、理事会、評議員会、定例役員会、所属長会議、事務会議等を開催しました。また、予算執行や業務運営の適正性を高めるため、監事監査、会計監査人監査、内部監査を実施しました。大学・短大では、教授会等を計画どおりに開催するとともに、大学企画運営会議、短大企画運営会議を毎月開催し、迅速な意思決定に努めました。
④経営基盤の強化
収容定員充足率の充足や、第2期中期計画の主要数値目標の達成に取り組み、財政基盤の強化に努めました。(次の「Ⅱ財務の概要」に詳細を記載)

Ⅱ 財務の概要

平成30年度は、積極的な教育研究環境の整備を継続しつつ、基本金組入前当年度収支差額の黒字を維持することができました。
「事業活動収支計算書」は、企業会計という損益計算書に相当するものです。当該会計年度の経常的および臨時的収支を区分して、これらのバランスを把握できるようにし、これによって学校法人の経営状態が健全であるかどうかを判断することができま。平成30年度の経常収支差額は126百万円、特別収支差額は△57百万円、主に湯布院今昔庵等の資産処分差額、基本金組入前当年度収支差額は69百万円となり、前年度に引き続き、黒字を維持す

Ⅲ 収益事業の状況

国際交流会館は、私立学校法第26条に基づく収益事業(請負業)であり、その収益を学校法人の教育研究活動に役立てています。
平成30年度は、設備修繕のための臨時的な支出がありました。前年度同様に高い入居率を維持することができ、学校会計繰入前利益を5、232千円確保しました。最終的な当期純利益は32千円となりました。

※詳細は別府大学ホームページを、ご覧ください。

明星小学校の校庭が芝生になりました！

明星小学校の校庭が天然の芝生に生まれ変わりました！
映画やテレビなどで目にするようになり、イギリスやアメリカでは、学校の校庭の多くは芝生となっています。明星小学校では、子供たちの活動には、砂土よりも芝生がふさわしいと考え、校庭の芝生化に取り組みました。
苗の植付けは、明星小学校の全児童と教職員、明豊中学の1～3年生で行いました。一万六千株の苗は、

日本サッカー協会から無償提供を受けたもので、Jリーグのサッカー場と同じティフトンという品種が使われています。
校庭を芝生にすると怪我防止にも繋がりますし、なにより自然の緑が目にも優しく心が安らぎます。天然芝は、2年3年と年を経ることに緻密になり、美しさを増します。芝生は生き物です。皆で大切に扱い、美しい校庭の芝生に育てましょう！

附属幼稚園「遊びを通して学びの芽を育む教育に向かって」

平成31年4月から、満3歳児クラス保育が始まりました。好奇心旺盛な満3歳児さんが安全に、そして楽しく遊ぶことができるように砂場を整えました。
幼児教育に欠かせない「広い場」となった砂場で各年齢の子ども達が交わって遊んでいます。キーキヤトンネル作りの名人や砂や水の性質を試す小さな科学者が次々と誕生してい

ます。そんな4、5歳児の遊び方に心を動かして、しっかりと記憶しようとする小さなクラスの子ども達の目はとても鋭く、キラキラと輝いて見えます。
このように、遊びを通して「学びの芽」を育む幼児教育の充実を目指して、これからも幼児期にふさわしい環境の在り方を探り続けたいと思います。

大分香りの博物館足湯が温泉道施設に！

大分香りの博物館には、四季折々に季節を彩るハーブガーデンが併設されています。ハーブガーデンには、かけ流しの天然温泉足湯(アルカリ単純泉)があり、2018年9月に別府八湯温泉道指定の施設として正式に認定を受けました。公式ガイドブック『別府八湯温泉本2018―2019年版』に掲載されています。
ハーブのいい香りに囲まれながらゆったり足湯を楽しんで、別府八湯温泉道名人をめざしませんか。

別府八湯温泉道は日本一の源泉数を持つ別府の多種多様な温泉を、楽しみながら味わい尽くしてもらうため考案された、スタンブラー方式の温泉ガイドです。88湯のスタンプを集めると「別府八湯温泉道名人」の称号が与えられます。

別府大学教育研究振興資金の募金について

平成30年度別府大学教育研究振興資金にご寄付いただきました方々に厚く御礼申し上げますとともに、感謝の意を込めて、ここに「芳名を掲載させていただきます。なお、ご芳名の公表を希望されない方につきましては掲載しておりません。

【平成30年度】

(平成30年4月1日～平成31年3月31日まで)

坂本 文博 様	此本 卓彌 様	後藤 秀文 様	工藤 直喜 様	工藤 忠則 様	清末 太志郎 様	キムラ 薬局 様	木ノ下 良二 様	北村 聡郎 様	神田 祥子 様	河野 栄一 様	川井 圭太 様	小野 秀幸 様	大江 紙央 様	衛藤 頼光 様	埋田 圭弘 様	内尾 勝弘 様	上山 祐佳 様	植田 智行 様	岩田 友美 様	岩武 宏二 様	今永 勝介 様	猪原 亜未 様	五十川 敬基 様	池田 菜由 様	安部 達雄 様	阿南 和子 様	安達 雄二 様
藤田 誠士 様	福村 文江 様	福田 広美 様	姫野 哲也 様	久下 純子 様	波多野 一広 様	羽立 将樹 様	二宮 啓郎 様	西原 裕人 様	中西 悟 様	豊田 正直 様	中川 山崎 様	豊田 博 様	弦本 努 様	津崎 政治 様	武内 奈胡 様	田口 真佐子 様	高橋 博之 様	角 徳一郎 様	白濱 貴大 様	溝田 久善 様	首藤 郁恵 様	首藤 和生 様	下田代 英昭 様	四嶋 優子 様	里田 謙一 様	佐藤 峰来 様	佐藤 信得 様
渡抜 教江 様	渡邊 典之 様	渡部 勝俊 様	渡部 風芽 様	和田 智博 様	脇田 加代子 様	黎 明 様	山中 美智子 様	山中 希美 様	山田 美沙 希 様	山口 正大 様	矢野 由紀子 様	矢野 広美 様	柳井 紗莉 様	森 桜咲子 様	向井 誠司 様	宮田 正樹 様	宮崎 英樹 様	南 昌宏 様	南 健治 様	丸山 優子 様	松橋 晃 様	松下 真吾 様	町田 博幸 様	星野 容子 様	藤本 義浩 様	不二原 穂 様	藤田 史子 様

(五十音順)

別大生、「アジア太平洋ろう者競技大会」代表選考会のボランティアとして活躍

6月1日、田ノ浦ビーチ（大分市）で、一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会（DBVA）の主催で、「第9回アジア太平洋ろう者競技大会」（香港開催）の日本代表選考会が行われました。

この選考会に、別府大学の手話サークル、写真部、バレー部、青年団から7名がボランティア参加し、代表選考会の運営の大きな助けとなりました。



本学大学院修士課程が日本生殖心理学会で優秀論文賞を受賞

本学大学院臨床心理学専攻修士課程の稗田真由美氏（本学非常勤講師）が、2018年度の日本生殖心理学会の学術雑誌に掲載された論文で、研究の科学的整合性、論究の妥当性、発展性を認められ、学会の優秀賞を受賞しました。

不妊治療の正しい知識やその心理教育の手法を明確にしており、不妊で悩む夫婦のみならず若者たちに對しても、不妊の知識普及に繋がればとの稗田さんの思いが実を結びました。今後の稗田さんの活躍を期待しています。



久門健太さん、尾畠春夫さんに似顔絵を贈呈

人間関係学科1年生の久門健太さんが、「スーパーボランティア」として知られる尾畠春夫さんに油絵の似顔絵を贈呈しました。

久門健太さんは2016年の熊本大地震で被災したことをきっかけに、防災に関する油絵を制作してきました。そんな中、尾畠春夫さんの活動に感銘を受け、似顔絵を10ヶ月かけて制作し、応援の意味を込めてプレゼントしました。久門さんは「自分も恩を忘れずに生きていきたい」という思いを絵に込めて伝えられた」と話していました。



親子料理教室を開催しました

7月20日、食物栄養学科では親子料理教室を開催しました。今回は、「郷土料理を作ろう」をテーマとし、小学6年生までの子ども達と保護者の方々、合計24名が参加しました。子育てもち麦だんご汁、とりめし、じり焼きの3品の郷土料理を調理し、とり天とかぼす果汁を加えたヨーグルトアイスの試食も行いました。今後、親子で調理を楽しむ企画を続けていきます。

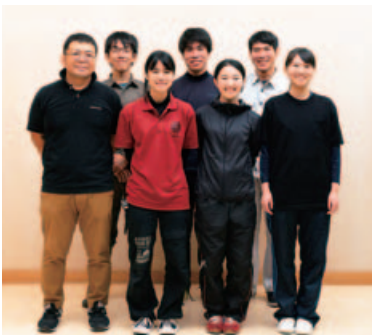


「高校生のための心理学講座」を開催しました

2019年9月8日、37号館メディアホールにて、「高校生のための心理学講座」を開催しました。この講座は心理学に関する誤解や偏見を解き、高校生に心理学が実証に基づいた科学的な学問であることを知ってもらうものです。今回は、脳科学からみた「こころ」の話から始まり、ダイエツトと心理学の関係のような身近な話題や統合失調症のような病気について触れています。



表紙の写真



今回表紙に登場してくれたのは、史学文化財学科の考古学研究室のみなさんです。発掘・調査で築いたチームワークを撮影時にも発揮してくれました。将来、各地で文化財保護の担い手になることを期待しています。

Be-Newsへのご意見・ご要望がございましたら、下記までご連絡をお願いいたします。

別府大学・別府大学短期大学部 広報室
〒874-8501 大分県別府市北石垣82
TEL: 0977-66-6262
E-mail: koho@nm.beppu-u.ac.jp

今号は、「九州の文化遺産を守る」を特集しました。本学が拠点大学として認められたのも、九州各地で活躍する卒業生のネットワークの土台があるからです。文化財は、地域社会の人々の心の拠り所でもあります。災害大国日本の中で、別府大学の社会的責任がますます大きくなります。（し）

編集後記

地域連携

たび研、郷土食「ひねり餅」で地域おこしをひねり出す

令和元年8月9日、国際経営学科のたび研（たびと地域の研究会／顧問中山昭則教授）は、豊後高田市夷地区に伝わる伝統食「ひねり餅」作りに挑戦しました。

たび研では、昨年からは豊後高田市とともに地域活性化のため「鬼のブランド化事業」に取り組んでいます。これは同市が『鬼が仏になった里「くにさき」』の日本遺産認定を契機に立ち上げた事業で、昨年は鬼のキャラクター制作に取り組み、文学部国際言語・文化学科マンガ・アニメコースの学生の協力を得てデザイン化しました。今年はそのキャラクターを取り込んだタオルを作ることになっています。

そんな中、6月の調査で、小麦粉を練ってきな粉をまぶした「ひねり餅」という伝統食があることを知り、今回はその作り方を指南いただきました。今後は鬼キャラクターのタオルと共に豊後高田市を売り込むコンテンツとして、「鬼」と「ひねり餅」をタイアップさせた商品を考案し、ブランド化事業の一環としてこれをお土産として売り込んで行きたいと考えています。



国際言語・文化学科3年の伊藤涼子さん
考案の鬼のデザイン

アニッシュ・カプーア彫刻作品『Sky Mirror』作品保管用シートをデザイン・制作

国際言語・文化学科は、混浴温泉世界実行委員会より依頼を受け、昨年別府公園で公開したアニッシュ・カプーアによる彫刻作品『Sky Mirror』の作品保管用シートのデザイン・制作をしました。4月下旬に市内小学校体育館にて、同学科芸術系コースの学生が中心となり、3日間かけてシートを仕上げました。

別府公園には様々な人々が集い憩う場所であるという意味を込めて、いろいろな色彩を使用し、白い楕円の形は、今年の秋に大分県で開催されるラグビーワールドカップへの期待も込めて、弾むイメージを取り入れています。制作した学生らは「作品保管中も、公園を利用する市民の皆様にワクワク感を感じてほしい」と、作品への想いを語ってくれました。

現代アートの巨匠の作品を保護し、公共の場を飾るシートを制作できたことは、学生達にとって貴重な経験となりました。



国際言語・文化学科の
芸術系コースの
卒業生・在学生で
制作に取り組みました

Sky Mirror, 2018
©Anish Kapoor
Photo: Nobutada Omote

※「Sky Mirror」は9月21日（土）～11月10日（日）の間再公開となり、保管用シートは現在撤去されています。